

解答・解説

リスニング・読み上げ原稿／語句

1 リスニング

各2点 / 10点

- (1) 正答：イ meet at the school gateで「学校の門に集合する」。
- (2) 正答：ア 集合はeight thirty（8時30分）。eight forty-five（8時45分）はバスの出発時刻。
- (3) 正答：ウ don't have to bring lunchは「昼食を持って来る必要はない」。持参を禁止しているわけではない。
- (4) 正答：ウ can take picturesで撮影は可能。butの後のmust not use a flashで「フラッシュは禁止」とわかる。
- (5) 正答：イ After lunchの後にwatch a short movie about spaceとある。

教師用読み上げ原稿

生徒には見せない。最初に設問を読む時間を45秒取り、全文を2回読む。1回目と2回目の間を15秒、2回目の後を30秒空ける。目安は毎分100～110語。説明を含めて約4～5分を想定。

Hello, everyone. Here is some information about our school trip this Friday. We will visit the science museum. Please meet at the school gate at eight thirty. The bus will leave at eight forty-five. You have to bring a notebook and a pencil. You don't have to bring lunch because we will eat at the museum restaurant. You can take pictures in the museum, but you must not use a flash. After lunch, we will watch a short movie about space. We will leave the museum at two thirty.

2 語句

各2点 / 10点

- (1) future in the futureで「将来」。まとまりで覚える。
 - (2) bring bringは、話し手や相手がいる場所・話題の場所へ「持って来る」。
 - (3) difficult 「難しい」。This question is difficult.で「この問題は難しい」。
 - (4) practice Let'sの後は動詞の原形。イギリス英語の動詞のつづりpractiseも正解。
 - (5) interesting 本などが「おもしろい」はinteresting。人が「興味を持っている」はinterested。
- 上記以外でも、指定の頭文字・語数・日本語の意味・英文の文法をすべて満たす適切な語は正解として扱う。

解答・解説

不定詞・動名詞・助動詞・接続詞・how to・比較表現

3 文法

各2点 / 16点

(1) ウ：to visit

want to + 動詞の原形で「～したい」。want visitingにはしない。

(2) エ：playing

enjoyの後で動作を表す場合は動名詞（動詞の-ing形）を使う。enjoy to playにはしない。

(3) ア：mustn't

must notは「～してはいけない」という禁止。

(4) イ：don't have to

「～する必要はない」。mustn'tの「禁止」と区別する。主語がyouなのでdoesn'tは使わない。

(5) イ：because

becauseは理由を表す。「病気だった」が、家にいた理由。

(6) ウ：rains

未来のことでも、条件を表すifの節では現在形を使う。主語がitなのでrains。

(7) ア：tired

look + 形容詞で「～のように見える」。tiredは人が「疲れている」、tiringは物事が人を「疲れさせる」。

(8) エ：to hear

happy to + 動詞の原形で「～してうれしい」。to hear the newsは、うれしかった原因を表す。この不定詞のtoの後は、heardやhearingではなく原形hear。

解答・解説

並べ替え／書き換え・表現

4 並べ替え

各3点 / 12点

(1) I have many things to do.

things to doは「すべきこと」。不定詞to doが前のthingsを説明している。

(2) I went to the library to study English.

to study Englishは「英語を勉強するために」という目的を表す。不定詞はto＋動詞の原形。went to the libraryのtoは行き先を示す前置詞で、後ろに名詞が続く。語群にある二つのtoを両方使う。

(3) My uncle gave me a book.

give＋人＋ものは「人にものをあげる」。gaveはgiveの過去形。

(4) Do you know how to use this camera?

how to＋動詞の原形で「～する方法」。how to use this camera全体で「このカメラの使い方」。

採点：指定語をすべて使い、語順と英文が正しければ3点。語順は完全に正しいが、転記・大文字・句読点の軽微な誤りだけがある場合は2点。語順の誤り、指定語の欠落・追加がある場合は0点。

5 書き換え・表現

各3点 / 12点

(1) have / to

mustとhave toは、この文ではどちらも「～しなければならない」を表す。二つの空欄がそろって正解なら3点。

(2) doesn't / have / to

主語Kenは三人称単数なのでdoesn'tを使う。doesn'tの後はhasではなく原形have。「必要がない」はdoesn't have toで、must notではない。三つの空欄がそろって正解なら3点。

(3) I could not go to the party because I was busy.

別解：Because I was busy, I could not go to the party.

couldn'tを使っても正解。becauseの後に理由を置く。「忙しかった」が原因で、「パーティーに行けなかった」が結果。

採点：becauseで二つの節を一文につなぐ1点／原因と結果の対応が正しい1点／残りの英文が正しい1点。明確な文法・つづり・句読点の誤りがある場合は最後の1点を与えない。同じ誤りを複数項目で重ねて減点しない。

(4) was / eating

過去のある時点で「～していた」はwas/were＋動詞の-ing形。父が帰宅したときに、食事の途中だったことを表す。主語Iなのでwas。二つの空欄がそろって正解なら3点。

解答・解説

第6問A／第6問B（比較未習時の差し替え用）

6A 資料読み取り・比較表現

各3点 / 12点

(1) lighter

赤は400g、青は600g。二つを比べて「より軽い」のでlightの比較級lighterを使う。thanは比較する相手の前に置く。

(2) cheapest

青は1,800円で、三つの中で最も安い。cheapの最上級はcheapest。theは問題文にあるので、空欄には書かない。

(3) as / light / as

緑と赤はどちらも400g。as＋形容詞の原形＋asで「～と同じくらい…」を表す。lighterにはしない。三つの空欄がそろって正解なら3点。

(4) red／2,400 yen（2,400円）／400 g

青は安いのが600gで重さの条件を満たさない。緑は400gだが3,000円で値段の条件を満たさない。赤だけが両方の条件を満たす。色・値段・重さに各1点。Redも可。

6B 差し替え問題の解答

各3点 / 12点

第6問Bを使用した場合のみ、以下で採点します。第6問Aとの合計はしません。

(1) speaking：enjoyの後で動作を表すときは動名詞を使う。

(2) 辞書を持って来る必要はありません。：「必要がない」を正しく訳して3点。「持って来てはいけない」は禁止になるため不可。

(3) a / pencil：美術クラブのお知らせのBring a pencil.から、連続する二語a pencilを抜き出す。二語がそろって正しければ3点。your pencilなどは文として成立しても、お知らせからの抜き出しではないため、この設問では正解にしない。

(4) Art Club。木曜日の午後4時から5時に活動し、動物の絵を描く練習ができるから。

採点：Art Clubの選択1点／木曜日（時間帯も合う）という根拠1点／動物の絵を描く活動という根拠1点。

解答・解説

長文読解の解答・採点基準／本文の全訳

7 長文読解

18点

(1) 町の図書館。〔3点〕

最初の文のat the town libraryが根拠。「図書館」だけでも正解。

(2) 男の子と、その男の子の犬。〔3点〕

a boy and his dogが根拠。「男の子と犬」でも正解。両方で3点、一方だけ正しければ1点。

(3) 最初の本には難しい言葉が多く、聞く子どもの中には4、5歳の子もいたため、その子たちに合う本を選ぶ必要があったから。〔4点〕

many difficult wordsとonly four or five years oldを結び付けて考える。「最初の本は長かった」だけでは、設問で指定された「使われている言葉」への説明にならない。

採点：難しい言葉が多いこと2点／聞き手の中に4、5歳の幼い子がいたこと2点。年齢の数値がなくても「幼い子にもわかる本にするため」など、聞き手の年齢への言及があれば後半の2点を認める。

(4) 話し始めたこと／笑顔になったこと。〔各2点・4点〕

直前のbegan to talk and smileが根拠。thatは一語だけでなく、直前に書かれた出来事全体を指している。

(5) イ。聞き手に合う物語を選ぶことが大切だと考えているから。〔4点〕

最後の段落のchoosing a story for the listeners is importantが根拠。自分の好みだけでなく、相手に合う内容を考えるということ。

採点：イの選択2点／「聞き手に合わせて選ぶことが大切」という考えを理由として説明できている2点。言い換えを認める。

本文の全訳

先月、私たちのクラスは町の図書館で、子どもたちのための読書の行事を開きました。私は読書が好きなので、その行事に参加しました。初めは、自分のお気に入りの物語を読みたいと思っていました。それは、男の子とその犬についての長い物語でした。

行事の前に、先生は「まだ4歳や5歳の子もいます。その子たちのための物語を選ばなければなりません」と言いました。私は自分の本をもう一度見ました。難しい言葉がたくさんあったので、絵がたくさんある短い物語を選びました。友達のケンも動物のカードを作りました。私たちは一緒に、その物語を読む練習をしました。

行事の日、初めは静かにしていた子どもたちもいました。ケンはその子たちにカードを見せ、私は動物について簡単な質問をしました。すると、子どもたちは話し始め、笑顔になりました。私はその様子を見てうれしくなりました。

今、私は聞き手のために物語を選ぶことが大切だと考えています。またその行事に参加したいです。

解答・解説

条件英作文の解答例・採点基準／ご利用にあたって

8 条件英作文

10点

解答例（3文・25語）

I want to visit Kyoto during winter vacation.

I want to go there because I like old temples.

I will go there with my family.

意味：冬休みに京都を訪れたいです。古いお寺が好きなので、そこへ行きたいです。家族と一緒にいくつもりです。

1文目で「したいこと」、2文目で「理由」、3文目で「一緒に行く人」を伝えている。want toの後は動詞の原形。becauseの後はI like old templesのように、主語と動詞を含む節にする。

採点基準

内容【4点】

1文目に冬休みにしたいことが伝わる2点／2文目にその理由が伝わる1点／3文目に場所・同行者・具体的時期のいずれかが加わる1点

指定表現【2点】

1文目のwant to＋動詞の原形が正しい1点／2文目がbecauseで理由の節と主節を結ぶ一文になっている1点

その他の英文の正確さ【2点】

指定表現以外の文法・つづり・大文字・句読点に誤りがなければ2点。独立した誤り一つにつき1点減点、最低0点

形式【2点】

3文である1点／全体が20～35語である1点

解答例と異なる活動・理由でも、条件を満たせば正解。同じ誤りは重ねて減点しない。例えばwant visitは指定表現で減点し、同じtoの欠落を「その他の英文の正確さ」でも減点しない。無答や課題と無関係な英文は0点。

使 ご利用にあたって

対象は、不定詞・動名詞・助動詞・接続詞・how to・比較表現まで学習済みの中学2年生です。学校の教科書・授業進度・試験範囲に合わせて使用してください。

問題PDFの1-7ページが本編です。比較が範囲外の場合は、5ページの第6問Aを8ページの第6問Bに差し替えます。どちらの場合も36小問・100点です。

第1問は、この解答PDFの1ページにある原稿を2回読み上げて実施します。読み上げ原稿は、生徒用問題PDFには含めていません。

印刷設定はA4・実際のサイズを推奨します。50分は設計上の目安で、生徒による所要時間の測定と実機印刷は未実施です。